



第62号 発行・編集 松里中PTA

# 1年を振り返って PTA会長

令和四年度は暖かな日差しの中  
の入学式から始まりました。それ  
から間もなく一年が経とうとして  
います。月日の流れの速さを感じ  
ずにはいられません。今年度も新  
型コロナウイルス感染症は収まる  
ことなく、記憶に新しい第八波で  
は、山梨県内でも一日に二千人を  
超えるほどのものでした。

そんな中、松里中学校のPTA  
活動や学校の活動は、感染防止の  
対策をとりながら、できることを  
できる限りやるという姿勢で進ん  
できたように思います。

その中からいくつかを取り上げて  
みます。

九月の「松風祭」は、コロナ  
禍の中にあつて、文化の部と体  
育の部、制限はあったものの、  
直接、子どもたちの姿を見るこ  
とができました。三年ぶりのこ  
とだそうです。三年生の保護者  
にとっては「最初に最後のチャ  
ンスでした。実際に参観で  
き、親として嬉しさを感じた松  
風祭となりました。

また、松里中学校PTA最大  
行事である十二月の「有価物回  
収事業」。今年度も皆様だけで  
はなく、地域の方々からの温か  
いご協力により、無事に終了す  
ることができました。作業を通  
して、松里中の子どもの働き  
ぶりにも感心させられました。  
忙しい中、ご出労いただいた  
た保護者の皆様にあらためて感  
謝申し上げます。

PTA活動、特に会長として  
は、役員会の折など、執行部の  
皆様に幾度となく助けていただ  
いたことに心から感謝いたした  
ります。また、PTAの会員  
の皆様にも、多大なるご協力を  
いただいたことも有難く感じて  
おります。来年度以降に目を向  
けると、生徒数や家庭数の減少  
により、今まで通りの活動が難  
しくなってくる面があるかもしれ  
ません。その点については、  
黒沢新会長様を中心としてみん  
なで結束し、松里中学校の子ど  
もたちのためにPTA活動を  
いっそう盛り上げていってほ  
しいと願っています。

最後に、皆様に改めて深い感  
謝の意を表し、この一年のま  
めとさせていただきます。本  
当にありがとうございました。

## 「令和四年」に思う 学年部

一学年  
四月に入学式を迎えて早一年が経過しまし  
た。ごちな毎日を過ごしてまいりました。  
来年度は生徒数の減少に伴い、学校生活に  
おいて変化していく場面も生じてくるかと思  
います。最後になりましたが、先生方、保護者  
の皆様の支援、ご協力により今年度も無事  
に各行事を行う事が出来ましたこと、感謝申  
し上げます。一年間ありがとうございました。

二学年  
今年度は子供達にとって、今までに経験し  
たことのない大きな出来事が多くあった。そ  
の中で、今しかできないことを皆で考えて取  
り組み、成長してきたと思う。親や指導者  
は、できないからと諦めさせるのではなく、  
少しでもできるように伴走することには大切  
にしてきたのではないだろうか。一緒に経験  
値を積み、本人の強みを伸ばしてあげること  
ができれば良いと思う。今後も学校や仲間  
は、ワンフォアオール・オールフォアワンで  
同じ方向を向いて、皆で前に進んでもらい  
たい。

### 「はじめに」

山梨県は世界文化遺産の富士  
山をはじめ、南アルプス、八ヶ岳  
奥秩父など国内屈指の名峰に囲ま  
れている。県土の78%を森林が  
占め、山に降る雨や雪は、森林を潤  
しながら県中央に位置する甲府盆  
地に流れ着く。この「天然の水が  
め」と呼ばれるほど豊富な水をた  
たえている山梨県の北東部に甲州  
市は位置して、東山梨郡勝沼  
町・大和村・塩山市が平成一年の  
合併で成っている。豊かな自然の  
恩恵を受け、ぶどうや桃などの果  
樹の栽培が盛んで、多くの観光客  
が時季を選ばず訪れる。

本校が所在する甲州市松里地区は、  
戦国時代を代表する武将の一人、  
武田信玄公の菩提寺である恵林寺  
や風林火山の文字が書かれた「孫  
子の旗」など、武田家ゆかりの神社  
仏閣や品々が数多く現存し、戦国  
の歴史が色濃く残る地域でもある。  
また、地域の農産物を支えてきた  
歴史の証である「小屋敷堰」と称  
された水路が、地域のすみずみま  
で巡り渡っているのも特徴のひとつ  
である。

自然災害の少ない土地柄でもあ  
り、養蚕がさかんに行われていた  
頃が偲ばれる日本家屋も多く残さ  
れている。松里が誇る伝統産業の  
一つに、枯露柿作りが挙げられる。  
柿が縄に結わえられ、瓦屋根の軒

### 「総合的な学習の時間における 地域学習」

先にも吊される里山の風景は、松里  
の秋の風物詩である。

このような里山の風景や歴史を  
色濃く残す松里地区は、学校教育  
への関心も高く、地域全体が非常  
に協力的である。強歩大会や学園  
祭などの学校行事や登下校の立哨  
祭など、

### 「故郷(ふるさと)の心に触れる」 校長 清水 岳人

先にも吊される里山の風景は、松里  
の秋の風物詩である。

具体的な項目は次に挙げるような  
ものである。

- ブドウ棚・ワイン作り
- 常泉寺
- 恵林寺「巫女(みこ)の舞」
- 小屋敷堰(せぎ)
- せき地蔵(岩松院)
- 枯露柿(ころがき)体験
- 龍光院
- 放光
- 旧武蔵酒造
- 洪橋染め

り、建造物や文化財を見学したり  
する。地域人材を招き、地域に昔か  
らある物や、地域行事の調べ、伝  
説など語っていただくこともある。  
地域の大人の話を、甲州市教育委  
員会が独自に作成している地域学  
習フック、市立図書館で閲覧でき  
る郷土資料などを手がかりにして  
生徒は段階的に調べ学習を進めて  
いく。また、秋には枯露柿作りの体  
験も、現地で。

「郷土を愛し、発展に向けて  
創造的に生きる態度の育成」  
このように本校では体験的な学  
習を積極的に取り入れ、ふるさと  
の特色を学んでいる。このような  
充実した学習プログラムを構成でき  
るのも、「この松里」という地域の  
温かい風土があるからこそである。  
生徒たちは地域の人々の声を直接  
聞き、連絡と受け継がれてきた手  
仕事に触れることで、伝統の重み  
と温かさを体感できる。このよう  
な学習を通して、ふるさとを守り  
伝統を紡いできた人々のくらしに  
思いを馳せることが、郷土を愛し  
より良い創造性に向かう心を育む  
ものと確信している。

今後、郷土が現代抱える課題の  
観点からの学習にも発展させより  
よい解決に向けて地域社会で行動  
していこうとする態度の育成も目  
指していきたい。

三学年  
令和四年。コロナ禍と共に始まった娘の中  
学校生活が終わろうとしています。様々な事  
が制約された三年間で、最後は笑顔で  
卒業を迎えられようとしていた。三年  
間担任を受け持っていた佐々木先生を  
はじめ、松里中学校の先生方、三年間、子  
達のためにご尽力いただき誠にありが  
う。春からは高校生になります。周囲の言葉に流さ  
れる事なく、自分の人生を自分で決められ  
る事に成長していくよう見守っていき  
たいと思います。

指導など、生徒を見守り、地域全体  
で育てていこうという態勢が整っ  
ている。このような風土を基盤とし  
て、本校の総合的な学習におけ  
る地域学習は、実際に学校から地  
域にでかけ、取材や体験を重ねて  
行うプログラム構成が実現してい  
る。地域や学校の特色に応じた課  
題として、伝統文化、地域の産業、  
歴史など、松里地区の特色に応じ  
た探求課題を生徒が主体的に設定

○枯露柿(ころがき)体験 ○補助  
地蔵 ○松尾神社 ○信玄公祭り  
○勝頼公祭り

御覧の通り、歴史、信仰、民話・伝  
説、産業、特産品、暮らしの知恵、  
など多角的な視点で学習課題を設  
定している。各自の調べ学習と並  
行して、地域の寺社に赴き、実際  
に歴史や信仰、昔話を聞いた

協力を快諾してくださる農家は十  
件を超え、小グループでの内容の  
濃い体験ができていた。調べたこ  
とや体験した内容は、レポートに  
まとめて、学習の振り返りと定着を  
図っている。また、その他にもコ  
ロナ禍以前には学校行事として勝  
頼公祭りの巫女の舞、恵林寺での座  
禅体験、武將に扮し、甲州軍団と  
して信玄公祭りへの参加も特記に値  
するであろう。



令和四年。コロナ禍と共に始まった娘の中  
学校生活が終わろうとしています。様々な事  
が制約された三年間で、最後は笑顔で  
卒業を迎えられようとしていた。三年  
間担任を受け持っていた佐々木先生を  
はじめ、松里中学校の先生方、三年間、子  
達のためにご尽力いただき誠にありが  
う。春からは高校生になります。周囲の言葉に流さ  
れる事なく、自分の人生を自分で決められ  
る事に成長していくよう見守っていき  
たいと思います。

# 卒業するわが子へ



こっから先、いっぱい笑って  
いっぱい泣いて、たくさん悩んで、色んな道選んで、人生楽しんで行け！卒業おめでとう！

「勉強しなさい」と言った事が無かったね。遥の頑張りにはたくさん驚かされました。その頑張りをこれからずっと応援しています。

卒業おめでとう。恐れずに経験し、その経験が君を成長させ、強くさせてくれました。何事にも挑戦。応援しています。

中学卒業おめでとう。四月から新たなスタートですね。夢に向かってがんばって!! いつでも応援しています。

優雅、中学卒業おめでとう。  
有意義な学校生活、そして良い仲間に出会えたね。高校もいっぱい楽しんでね。

卒業おめでとう。あっという間の三年間でしたね。高校では環境が変わるけど、努力家の蓮なら大丈夫! いつも見守っています。

卒業おめでとう! コロナに翻弄された三年間でしたが、友達や先生方に助けられ楽しい三年間を過ごせたね。感謝の気持ちを忘れずにね。

拓実へ 卒業おめでとう。3年間よく頑張ったね。努力は裏切らないよ。自分の夢に向かって頑張ってるね。いつでも応援しているよ。

卒業おめでとう。小、中学校生活が終わって高校生活が始まりますがこの調子で勉強、スポーツを頑張ってください。応援しています。

卒業おめでとう。手のひらサイズで産まれこんなに成長したことが嬉しいです。今まで頑張ってきたことを大切に将来の夢に進んで下さい。

卒業おめでとう。いつも一緒だった二人が初めてそれぞれの場所でごんばることになるね。琉生と加瑛の成長が楽しみですよ。

四月からは夢に向かって一歩踏み出すことになるね。色々なこととにぶつかると思いますが。応援するので、一歩ずつクリアしていこうね!

たくさんさんの経験をして努力をして、心身共に大きく逞しく成長したね。これから、ずっと応援してるよ! 卒業、おめでとう!

いよいよ高校です。しかし中学入学と違い、顔見知りがない一人での高校入学、でもきっと良き友に巡り会えます。がんばれ!

いつまでも可愛い我が家の末っ子、卒業おめでとう。理想の自分になれるよう、新しい世界に羽ばたいてください。応援しています。

松里中での友達や先生との出会い、共に過ごした経験は、かけがえのない宝となるはずですよ。それを胸に、前に進んで行ってね。

中学卒業おめでとう! 三年間、よく頑張りました。春からは高校生です。新しい環境でも、麗羽は麗羽のまま頑張ってください。

これから辛い事・苦しい事が沢山あると思うけど、自分で決めた道を全力で進んで行って下さい。いつでも応援してるよ。

この義務教育の九年間色々あったと思います。いずれこの九年間がとても大切な思い出になると思います。卒業おめでとう!!

この三年間で何事にも全力で突き進む姿に成長を感じました。常に感謝の心、素直な心を忘れず夢を掴んで下さい。あこならでできる!

卒業おめでとう。三年間よく頑張りましたね。春からは高校生。新しい環境の中で自分の夢に向かって頑張ってるね。

悠道！まだまだ人生の通過点！失敗を恐れず、周りの人への感謝の気持ちを忘れずに。迷ったら前に出る！卒業おめでとう！

十五歳。前向きな力と思いやりは、ずば抜けた成長でした。はく、どんな時も「自分らしく楽しんで！ Keep it fan!

中学校卒業おめでとう！部活や勉強を頑張っている姿に成長を感じました。自慢の娘です。高校生活も頑張ってるね。見守っています。

卒業おめでとう！コロナ禍で様々な制限がある中、勉強も部活も良く頑張ったね。周囲の人への感謝とチャレンジ精神を忘れない。

勇人、卒業おめでとう!! 九年間先生方やお友達と沢山の思い出を作る事ができましたね。これからも感謝を忘れず勇人らしく頑張ってるね。

卒業おめでとう。学校生活、勉強も部活も一生懸命良く頑張りました。高校へ行っても自分を信じて、勇往邁進でがんばれ!

輝、卒業おめでとう。心身ともに成長した三年間だったね。これからも自分らしく、笑顔で充実した毎日を送ってください。

麻帆、卒業おめでとう！中学校生活で学んだ様々な経験を、これからの人生に生かしチャレンジしていったね。応援しているよ。

卒業おめでとう。陰で努力し色々な事にチャレンジしてきた姿は立派でした。ただ朝に弱い聖将：これからは弱点も克服していこう!

卒業おめでとう。中学校生活色々あったけどこれからも自分の目標に向かって思いっきり頑張ってるね。応援しています。

卒業おめでとう！これからも仲間を大切にいろんな挑戦をして、全力で駆け抜ける。がんばって応援してる。何事も楽しんで。

明希を見ていて学校が全てでは無いと思いました。明希は明希らしく輝ける場所が必ずある。寄り道しても大丈夫。一歩ずつ。

天太卒業おめでとう！この三年間で学んだ事や経験した事は天太にとって大切な宝物。自分の目標を見つげながら諦めず頑張ってるね。

峻平へ卒業おめでとう。中学では部活も勉強もよく頑張ったね。色々な事に挑戦する姿に成長を感じました。高校へ行っても頑張ろうね。

中学校卒業おめでとう！いつの間にか自分で考え自由に行動していたけど、夢への意志の強さ、成長したね。母には杏奈の笑顔が一番。

ご縁に感謝する人であれ。この先も美しくしなやかに伸びやかに自分を丸ごと大好きでいる人であれ。祝 卒業。

浩則、卒業おめでとう。自分で決めた道を楽しく、自分のペースで一歩ずつ進んで下さい。応援しています。





生徒会執行部から

今年度、私は、親しみやすく生徒会長らしくない生徒会長というスローガンを掲げ、集会所に謎掛けをしたり、後夕祭でマツケン像を作ったりと自分だけの生徒会長像を続けることができました。これも皆さんのおかげでとうございました。本当に一年間あり

私は、スローガン「Dorahen」を中心に、1年間女子副会長として活動して来ました。私が活動する中で心に残っているのは、行事の準備期間です。一つ一つの行事を、私達の理想の行事にしようとたくさんアイデアを出しました。私にとって、執行部の活動は「青春」でした。

コロナという制限がある中で、私はある一つのことに気が付きました。それは、生徒全員が力を合わせて取り組めば、どんな大きなことでも達成できるということです。このように、今までも、この松里中学校の皆さんが、今までも支えてくださっていた。皆様がありがとうございます。

私は人前で話すのが苦手だった。そんな自分を変えたいと思った。一年間本役員として活動し、全校に指示することなど今までできなかったことができるようになった。高校では、中学校で見つけ出し、いろいろなことに挑戦していききたい。

私達の最後の一年は「コロナ禍」という言葉に多くの制限をかけられた一年でした。

やり切りたい、思い切りたい、い中で、一人ひとりができること、何事も乗り越えてきました。この仲間を、一年間走り抜けたことを心から誇りに思います。みんな本当にありがとうございます。



一年間を振り返って

一年

私が心に残ったことは、松風祭です。松風祭では、全校で協力して部門活動や系列活動をしました。一年生の出し物の練習では、最初はまとまりがなくて不安でしたが、当日は練習した成果をしっかりと出して楽しく松風祭を終えることができましたので良かったです。来年度は二年生になるので、先輩方が今まで教えてくれたことや自分の経験を生かして、後輩のお手本になり、先輩を支えられるような存在になりたいです。私は生徒会執行部に入りました。学年はもちろんのこと、全校のために自分には何ができるのかを常に考え、積極的に行動していききたいです。



一年間を振り返って

三年

私達三十九人は、三年生になり「松里中学校」を背負い後輩たちを引っ張っていく学年になりました。三年生のクラス目標は「パレット」です。「それぞれの個性を尊重する」という意味が込められています。部活や委員会それぞれの場所で最高学年として努力してきました。学園祭でも、執行部を中心に、一人一人が、最高の思い出になるようにと精一杯の力を尽くしてきました。これまで支えて来てくれたすべての人に感謝を伝えたいです。私達三年生は色々なことに挑戦してきました。松里中学校での思い出を、これからも大切にしたいです。



成長、そしてこれから

二年

三年生を送る会の学年発表では、全力で想いを表現することができ、達成感で一杯だった。私たちの学年の課題は、エンジンがかかるのが遅いことだった。しかし、今回の三送会では、学年委員の仲間がリーダーシップをとって、計画的に活動してくれた。そのため、一人ひとりが自信をもって本番を迎えることができ、先輩方に私たちの感謝を、「想い」・「行動」で伝えることができた。その中で、一人一人、そしてクラス全体の成長を自分たちが実感した。

これから、私たちが「松中の顔」となり、学校をリードしていく。みんな力を合わせて頑張ろう！

